

新潟市子ども・子育て会議
第15回「放課後児童クラブ検討部会」会議概要

開催日時	令和元年8月2日（金）午前10時00分～11時45分
会 場	新潟市役所分館1-601会議室
出席委員	植木部会長、大竹委員、関川委員、長崎委員、長谷川委員、政谷委員、山岸委員 （全委員主席）
事務局等 出席者	こども政策課長、同課長補佐、育成支援グループ係長、副主査、 企画管理グループ係長、ジャパン総研株式会社 計8名
傍聴者等	傍聴者2名
議事内容	<p>1. 事務局よりひまわりクラブの現状について報告を行いました。</p> <p>（1）児童数の推移について （2）運営体制について （3）施設整備の状況について</p> <p>2. 第2期新潟市子ども・子育て支援事業計画（以下、計画という）の策定及び「量の見込み」の算定について議論しました。</p> <p>○事務局より、計画策定とそのスケジュールについて説明し、計画における放課後児童健全育成事業の「量の見込み」について新潟市の算出方法を説明しました。</p> <p>○量の見込みや計画について委員からは以下の意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在18時30分までの開設時間となっているが、保育園・幼稚園の開園時間は19時までである。働く保護者やひとり親のことを考え、閉所時間の延長について検討していく必要がある。 ・開所時間を長くすればいいという意見もあるが、子どもの立場になって、家庭で過ごす時間など誰が育てていくのかという視点も持って議論すべき。 ・待機児童を出さないことを大前提として整備していくことで、毎年度振り返りをして見通しを立てることが重要。 ・ひまわりクラブからひとりで帰る子どもについて課題意識を持ち、そのような子どもの見守りについての取組や地域との連携が必要。 ・地域でできることにも限界があるため、各地域に近い公共施設をひまわりクラブとして活用できれば、帰る道も短くなり少し安全に下校できるのではないか。 ・社会全体が、子育て世代が仕事から早く帰るなど優遇できるような社会になっていかなければ、子どもたちにとって有益になっていかないのではないか。